

科目名	国語	英語科目名	Japanese
開講年度・学期	平成28年度通年	対象学科・専攻・学年	物質工学科 3年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	履修単位
担当教員	柴田 美由紀	居室（もしくは所属）	テクノ棟4F
電話	内線172	E-mail	miyuki-s@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準
	1. 日本語の特徴について知り、言葉について関心を深めることができる。	①	
	2. 国語における常識的な語彙知識を身につけ、それらを適切に運用できる。	⑥	
3. 表現の実践的訓練を通じて、伝え合う力を高めることができる。	②		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1～3について、前期中間試験、前期末試験、口頭発表、小テスト、課題提出物等によって評価する。			
評価方法			
前期中間試験と前期末試験の平均点を40%程度、発表（口頭発表および発表に関連する提出物）を40%程度、小テストと課題提出物（発表関連以外）を20%程度で評価する。今年度において漢検準2級以上に合格した場合は、級に応じて加点する。コンクール等の参加など日本語表現に関する優れた取り組みについても、内容に応じて加点する。			
授業内容			
1. ガイダンス 第1章 総論：言葉の種々相	16. 論理的表現法①論証の方法 ディベート①導入、国語常識小テスト⑦		
2. 第2章 音声・音韻：音声と音声学 声のウォーミングアップ	17. 論理的表現法②論点の整理 ディベート②準備（論題決め、班分け）		
3. 第2章 音声・音韻：音素と音韻論 国語常識小テスト①	18. 論理的表現法③立論、ディベート③準備（班別作業） 19. ディベート④準備（班別作業）		
4. 第2章 音声・音韻：アクセント、スピーチ	20. ディベート⑤リハーサル、第1試合		
5. 第3章 文字・表記：文字の機能、国語常識小テスト②	21. ディベート⑥第2・3試合		
6. 第3章 文字・表記：漢字の借用	22. ディベート⑦第4・5試合		
7. 第3章 文字・表記：漢字と仮名、国語常識小テスト③	23. ディベート⑧総括、国語常識小テスト⑧ プレゼンテーション①導入		
8. 前期中間試験			
9. 答案等の返却と説明、語彙とは何か	24. プレゼンテーション②準備（情報の収集）		
10. 第4章 語彙：語彙の分類と位相 国語常識小テスト④	25. 論理的表現法④発想の方法、国語常識小テスト⑨ プレゼンテーション③準備（構想）		
11. 第6章 敬語：待遇表現、敬語の種類と使い分け	26. 論理的表現法⑤図式化 プレゼンテーション④準備（スライド作成）		
12. 第8章 共通語・方言：方言と共通語の概念 読書体験記のコツ、国語常識小テスト⑤	27. プレゼンテーション⑤発表		
13. 第8章 共通語・方言：方言の分布	28. プレゼンテーション⑥発表		
14. 総括：日本語の特徴とは、国語常識小テスト⑥	29. プレゼンテーション⑦発表、総括		
15. (前期末試験)、答案等の返却と説明	30. 提出物等の返却と説明		
キーワード	日本語の特徴、論理的表現法、スピーチ、ディベート、プレゼンテーション、国語常識		
教科書	「概説日本語」（北原保雄編著 朝倉書店）、「パスポート国語必携」（桐原書店） 「Sメソッドによる伝え合う力のトレーニング 四訂版」（オリジナル教材）		
参考書	「理系のための口頭発表術」（R・R・Hアンホルト著 鈴木炎他訳 講談社ブルーバックス B1584）		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	国語		
現学年の関連科目	なし		
次年度以降の関連科目	文学		
連絡事項			
授業内容は日本語学（日本語の特徴を学びます）、表現、国語常識の3本立てで行います。盛り沢山の内容ですが、3要素をバランスよく鍛えることで日本語力に磨きをかけましょう。			
シラバス作成年月日	平成28年3月9日		